

任意団体 次世代のためにがんばろ会

八代地域における循環型社会へ向けた ごみ減量・生ごみ堆肥化推進活動

市民の燃えるごみ 1人 50g 減量	24g 減量
隊員の生ごみ減量 100t	113.5t
活動の全体目標に対する達成度	90%



園児と生ごみ堆肥化作業

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 生ごみ処理箱「もったいなか箱」利用者の市助成金が可能になり、また、広報誌や市のチラシにも「もったいなか箱」を掲載紹介してくれる体制が出来た。この基金で実働を重ねてきた結果が、実を結んだと思う。
- 工夫** 生ごみ処理箱利用者 84 軒の訪問メンテナンスと、利用者の生ごみ減量のデーターを、市に提言した。

課 題

「一人1日のごみの量を 50g 削減」を目標としている自治体だが、約 3 年間で 26% 削減しているもののマンネリ化しているので、引き続きごみ減量と啓発をし、市に提言して行く。

活動内容

- ・無償で年 3 回収穫学習・実技指導したり、学習会・メンテナンスを年間 45 ヶ所で開催し、広報媒体 DVD を作成して学習会で利用した。
- ・行政機関などで生ごみ処理箱を展示紹介したことで、申し込みが増加した。
- ・利用者のごみ減量数値を市に提言し、市議会議決をもって、生ごみ処理箱利用者への助成金が採択された。



生ごみ減量吉田俊道先生講演会

今後の課題

生ごみ処理箱「もったいなか箱」の材料費が高く、助成金で賄ってきた部分があり、3 年間の実績で、八代市役所の助成対象品にはなったが、沢山の依頼者のために、助成金額を増やしていただくように提言し続けて行く。